

第18回

令和6年度 西尾市中学生

リーダー養成塾報告書

百花繚乱

～ナカマとともに協力して咲き誇れ未来への道～

「ナ」：仲間 「カ」：感謝 「マ」：マジチャレンジ



令和6年度12月25日（水）～28日（土）
トヨタ白川郷自然学校

認定NPO法人西尾市中学生リーダー養成塾
西尾市中学生リーダー養成塾実行委員会
西尾市教育委員会

第18回 令和6年度 西尾市中学生リーダー養成塾 報告書

《 目 次 》

《実行委員名簿》

研修から実践へ	塾 長 (柴田工業株式会社 代表取締役社長)	柴 田 高 広	1
リーダー像を追い求めて	団 長 (平坂中学校 校長)	齋 藤 茂 樹	1
ナカマとともに成長できた4日間	引 率 (平坂中学校 教諭)	榊 原 範 佳	2
29通りのリーダー像	引 率 (平坂中学校 教諭)	東 中 野 遥	2
これから始まる！旅の記憶の楽しみ	引 率 (株式会社オティックス)	小 田 井 利 樹	3
思い描くリーダー像を目指して	引 率 (西尾市教育委員会学校教育課 指導主事)	池 田 正 広	3

《日 程 表》

4～13

リーダーに大切なことが分かったリーダー養成塾	西尾中学校	14
リーダーとしての大きな成長	西尾中学校	15
自分を変えてくれたリーダー養成塾	西尾中学校	16
自分の理想を知ったリーダー養成塾	西尾中学校	17
楽しむことの大切さを学んだリーダー養成塾	鶴城中学校	18
自分の理想のリーダーに向けて	鶴城中学校	19
リーダーの存在を教えてくれたリーダー養成塾	鶴城中学校	20
新しい自分を引き出してくれたリーダー養成塾	鶴城中学校	21
本物のリーダーを学んだ	平坂中学校	22
みんなの「友達リーダー」	平坂中学校	23
人望とは何かを学んだ	平坂中学校	24
リーダーの素質を学べた4日間	平坂中学校	25
大切なことを教えてくれたリーダー養成塾	寺津中学校	26
自分のリーダー像が明確になった4日間	寺津中学校	27
自分らしいリーダー像を掴んだ4日間	福地中学校	28
自分を成長させてくれたリーダー養成塾	福地中学校	29
様々な人望を学べたリーダー養成塾	東部中学校	30
声を掛け合う大切さに気づいたリーダー養成塾	東部中学校	31
信頼されるリーダーになるために	一色中学校	32
リーダー養成塾で見つけたリーダー像	一色中学校	33
私を成長させてくれたリーダー養成塾	一色中学校	34
リーダーについて深く学んだ4日間	一色中学校	35
リーダーとしての意気	吉良中学校	36
自信をもたせてくれたリーダー養成塾	吉良中学校	37
理想のリーダーになるために	吉良中学校	38
自分を成長させてくれたリーダー養成塾	吉良中学校	39
第一歩をくれたリーダー養成塾	幡豆中学校	40
リーダー像を見つけることができたリーダー養成塾	幡豆中学校	41
僕が目指すリーダー像	佐久島しおさい学校	42

令和6年度西尾市中学生リーダー養成塾実行委員会

役職名	氏 名	備 考
顧 問	中村 健	西尾市長
委員長	稲垣 寿	西尾市教育委員会 教育長
委員(H18塾長)	小田井博茂	認定NPO法人西尾市中学生リーダー養成塾理事長 (株)オティックス 代表取締役会長
委員(H21塾長)	杉田 明弘	認定NPO法人西尾市中学生リーダー養成塾副理事長 (株)あいや 専務取締役
委員(H20、R6塾長)	柴田 高広	認定NPO法人西尾市中学生リーダー養成塾理事 柴田工業(株) 代表取締役社長
委員(H28塾長)	高須 光	認定NPO法人西尾市中学生リーダー養成塾監事 高須会計事務所公認会計士・税理士
委員(H22、R5塾長)	稲垣 良次	(株)イナテック 代表取締役社長
委員(H25、R1塾長)	鳥山 欽示	(株)はと屋 代表取締役社長
委員(H24、R3塾長)	石川 哲朗	(株)悠峰写真場 代表取締役
委員(H23、R4塾長)	小澤 育史	小沢歯科クリニック 顧問
委員(H27、29塾長)	山崎 克弥	山旺建設(株) 代表取締役社長
委員(H26、30塾長)	辻村 和敏	辻村工業(株) 代表取締役社長
委 員	藤井 健一	西尾市教育委員会 学校教育課長
委 員	長谷 栄次	一色中学校 校長(令和5年度団長)
引率者	齋藤 茂樹	平坂中学校 校長
	榊原 範佳	平坂中学校 教諭
	東中野 遥	平坂中学校 教諭
事務局	小田井利樹	(株)オティックス 総務人事部
	池田 正広	西尾市教育委員会 学校教育課 指導主事

中学校担当者

西尾中学校	清水謙二郎	東部中学校	柴田久美子
鶴城中学校	糟谷 正幸	一色中学校	石川 利彦
平坂中学校	榊原 範佳	吉良中学校	高原 剛
寺津中学校	古崎 康之	幡豆中学校	峯澤 義典
福地中学校	小倉 潤	佐久島しおさい学校	宮川 周

研修から実践へ

第 18 回 西尾市中学生リーダー養成塾長
柴田工業株式会社 代表取締役社長 柴田 高広

リーダー養成塾に参加の皆さん、結団式から報告会までお疲れ様でした。西尾とは違う白川郷の景色の中で、普段と違う学びの環境を楽しめましたか。自分なりのリーダー像は描けましたか。

我々経営者も企業のリーダーとして、様々な経営課題の解決に取り組んでいます。皆さんも養成塾のプログラムにより、リーダーとしての心構えは勉強できたと思います。これからは、皆さんのかかわる集団の目的、目標、課題を見極め、その達成のために力を結集し、最大効果を導き出す、舵取りを担える人になってほしいと期待しています。そのために失敗を恐れずに行動的で、能動的であってください。もし上手くいかないことがあっても13歳の時のワクワク感と、皆さんが作ったテーマ、「仲間、感謝、マジチャレンジ」の心意気を思い出してください。ここでの仲間は同じ志なので、この後も相談に乗ってくれるはずです。私たちは、いつかまた別の場面でリーダーとして活躍されている皆さんに、再会できることを楽しみにしています。

私がリーダー像として気にかけている言葉の一つに「光らせている人が、光っている人」という言葉があります。是非皆さんにも光る人であってほしいと願っています。

「咲き誇ろう。百花繚乱のごとく。」

最後に、引率の先生方、教育長はじめ関係者の皆様、保護者の皆様に感謝申し上げ、塾長の言葉とさせていただきます。

リーダー像を追い求めて

団長 平坂中学校長 齋藤 茂樹

今年度も西尾市リーダー養成塾実行委員会の方々のご尽力により、18回目のリーダー養成塾を実施することができました。関係の皆様方に心より感謝申し上げます。

今回参加した29名の生徒は、その素質を見込まれ、リーダー性を高めるべく集まりました。選ばれたとはいえ、そこには、期待と不安が入り混じっていたことでしょう。大雪警報が発令される中、トヨタ白川郷自然学校での様々なプログラムが始まりました。すると、最初に抱いていた不安がだんだん払拭されていき、それと同時に、生徒たちの動きが活発化していきました。「リーダーに必要なもの」が生徒の中で整理され、その後のプログラムにおいて自分が実践すべき姿が明確になったからだと思います。互いに声をかけ合い、相談し、解決に向けてアイデアを出し合う。迷いや混乱もあったかもしれませんが、チームで乗り越える術と楽しさを経験できたことでしょう。PVづくりの最中、インタープリターが生徒たちに「PVづくりは目的ではない、手段です」と語りかけました。生徒たちの姿には、まさにそれを理解し、実践する姿がありました。大自然の中、学校では体験できないプログラムを通して、リーダーに必要なものを追い求めた4日間でした。

ナカマとともに成長できた4日間

引率 平坂中学校教諭 榊原 範佳

リーダーとして更に成長したいという思いをもって集まった29名。事前研修会でのスローガンやPV班決めでは、自分自身の意見を他者に伝えることはもちろん、他者の意見を尊重しながら、全員が納得できるものになるように話し合っている姿が見られました。

トヨタ白川郷自然学校で行った「スタンドアップ」が印象に残っています。初めは、近くの人だけの声掛けだったため、全員で立つことがうまくいかず苦戦していました。そんな中、「周りの意見も聞こう。」という声が徐々にナカマから出始め、少しずつ成功に近づいていきました。立ち上がったときの皆さんの喜んでいる姿や歓声が今も残っています。29人のナカマが意見を出し合い、みんなで考え行動することができたからこそその感動だったことでしょう。

今回集まった29人のナカマとの出会いを大切に、今度は学校の仲間とともにさらに成長していてください。それぞれの学校を創っていくリーダーとして活躍していくことを願っています。

29通りのリーダー像

引率 平坂中学校教諭 東中野 遥

今年度は、「百花繚乱 ～ナカマ（ナ：仲間、カ：感謝、マ：マジチャレンジ）とともに協力して咲き誇れ未来への道～」をスローガンに決め、各校のリーダーたちが、貴重な時間をともにしました。

トヨタ白川郷自然学校では、各プログラムを通して、それぞれが自分自身を見つめ、自分の「リーダーとしての在り方」を追究しました。

「ナイトハイク」では、自分と向き合う静かな時間の中で、「自分の考えや進んでいく道が見える不思議な体験をした」という生徒がいました。また、「イグルー作り」では、互いに個性を尊重し合い、協力して一つのもので作り上げる中で、「お互いの声を伝えること、受け取ることの大切さと難しさを実感した」という生徒がいました。さらに「PVづくり」では、それまでのプログラムで、各々が見いだした自分の強みや、乗り越えたい弱点を意識しながら、補い合い、協力し、唯一無二のPVを作り上げました。どの生徒も、達成感でいっぱいの素敵な笑顔を浮かべていました。

これから、各学校での日常生活に戻ります。4日間の終わりに語った「目ざすリーダー像」に、29名全員が自らの力で近づいていくことを心から願います。

これから始まる！旅の記憶の楽しみ

事務局 株式会社オティックス 小田井 利樹

12月25日、市役所で中学生リーダーの皆さんをお預かりし、4日間の研修を経て保護者の皆様の元に29名全員を無事にお返しすることができ、事務局として本当に良かったと思います。

さて、旅には①準備する楽しみ、②旅そのものの楽しみ、③旅の記憶の楽しみの3つの楽しみがあると言われます。「旅」はもちろん今回の「西尾市中学生リーダー養成塾」です。①と②の楽しみは既に終わりましたが、③の「旅の記憶を楽しむ」はこれからが本番です！

研修のことを思い出してください。リーダーを目指し合う仲間と話し合い、自然学校の先生に指摘されたことを改善しながら、チームで西尾市のPVを創り上げました。雪国白川郷でのイグルー作り。目標達成に向け自然発生的にリーダーになった人達、チームのためにそのリーダーを助けた別の大勢のリーダー達。そしてチーム全員で決められた時間内にイグルーを完成させ、目標を達成しました！そして、それらの思い出が皆さんにとってもっと素敵な「記憶」に成長するよう、学校で、家庭で更に磨き続けていただけたらと思います。

最後に、子ども達のために一生懸命頑張られた平坂中学校の齋藤団長はじめとする引率者の先生たち、西尾市中学生リーダー養成塾を支えてくださった全ての皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

思い描くリーダー像を目指して

事務局 学校教育課 池田 正広

リーダー養成塾を通して、塾生たちの確かな成長を間近で見取ることができたことは、私にとっても貴重な経験となりました。事前研修会のスローガン決めでは、自分の考えを伝えるだけでなく、仲間の思いを汲み取りながら、29人全員の思いを乗せたスローガンを決めることができました。そんな塾生たちの姿からは、「さすがリーダー！」という安心感と、「どんなリーダーに成長するのか」という期待感で胸がいっぱいになりました。

快晴で迎えた養成塾の初日。清々しい青空、美しい雪景色は、皆さんを歓迎しているようでした。そして、それに応えるだけの行動を示す皆さんの姿がありました。4日間の研修は、どのプログラムも「リーダーとは」を、自分自身に問いかける内容となっていました。最初は不安そうだった表情も、「仲間を想う優しい表情」「自分自身を見つめ直す厳しい表情」など、経験を積んでいくたびに表情に変化が表れていました。また、様々な経験をしたことで、発する言葉にも重みが増していきました。きっと心の中で様々な葛藤もあったことでしょうが、その分、それぞれが理想とするリーダー像に近づいていったはずです。そして、高い志をもった仲間同士で切磋琢磨したからこそ、互いに成長していくことができたのだと思います。

リーダー養成塾を通して学んだことを、今後の人生につなげていってください。

日程：1日目

2024. 12. 25<水>

時刻	活 動 内 容	備 考
7:40	※ 集合前に家で検温、健康チェックカード Google Forms。 ○ 集合・点呼 ※乗車前健康観察（東中野）	・ 欠席連絡は7:00-7:20
7:50	○ 出発式	・ 市役所北駐車場 （荒天時：多目的室）
	司会（榊原） 1 団長あいさつ（平坂中 齋藤校長） 2 塾生代表出発のことば（西尾中 ）	・ 7:20より前に来ない。 ・ 服装は、各校の学校指定 ジャージ。 ・ 防寒具着用可 ・ 集合しだい、出発式
8:00	○ バス乗車・出発 ○ 鞍ヶ池PA トイレ休憩 ○ ひるがの高原SA トイレ休憩	
11:40	○ トヨタ白川郷自然学校 到着 ・ 荷物を2Fの催事ホールに置き、レストランへ集合。	・ 交通事情により休憩、到着 の時間は前後する。
12:00	○ 昼食 「いただきます」（101） 「ごちそうさまでした」（101）	・ 財布を預ける。 ・ 食事のあいさつは一言添 える。
13:00	○ 開塾式	・ 催事ホール
	司会（榊原） 1 始めのことば（東中野） 2 リーダー養成塾塾長あいさつ（柴田 高広 塾長） 3 トヨタ白川郷自然学校代表あいさつ（天野 事務局長） 4 リーダー養成塾実行委員長あいさつ（稲垣 寿 委員長） 5 来賓紹介（池田） 6 塾生代表決意のことば（鶴城中 ） 7 インタープリター自己紹介 8 終わりのことば（東中野） ※記念撮影	
14:00	○ 特別プログラム【リーダーのあり方について】	・ 研修室
14:45	○ プログラム① 【相互理解の深化】 ・ 部屋長は、研修の最後にルームキーを受け取る。	・ 研修室
17:00	○ 入室	・ 以後、基本はくつ移動。
17:30	○ 夕食 「いただきます」（102） 「ごちそうさまでした」（102） ・ 食事後、部屋へ戻って着替えをする。	・ レストラン
19:00	○ プログラム② 【夜の森を感じるナイトハイク】	・ ホールに集合 ・ 野外
20:30	○ 入浴 ※浴場まではスリッパの移動可。	・ 天然温泉
21:00	○ 仲間との情報交流	・ 研修室
21:20	○ 健康観察、諸連絡 ○ 就寝準備 ◆ 事務局・スタッフミーティング	・ 研修室
22:00	○ 就寝	・ E108



出発式



開塾式



特別プログラム



プログラム①グループワーク



プログラム①グループワーク



プログラム①グループワーク



プログラム②ナイトハイク



プログラム②ナイトハイク

日程：2日目

2024.12.26<木>

時刻	活 動 内 容	備 考
6:30	○起床 ・起床時刻前に目が覚めても騒がない。	
7:00	○朝食（ビュッフェ） 「いただきます」（103） 「ごちそうさまでした」（103） ○部屋の清掃	・ レストラン
8:30	○プログラム③ 【森の生き物たちの知恵を学ぶガイドウォーク】 ※無積雪時はガイドウォークを30分延長する。	・ 研修室、野外
11:30	○昼食 「いただきます」（104） 「ごちそうさまでした」（104）	・ レストラン
13:00	○プログラム④ 【グループの力を引き出すアクティビティ】 ※無積雪時は【焚き火に挑戦】に変更。	・ 研修室、野外 ※無積雪時： オープンハウス
16:10	○入浴	・ 天然温泉
17:00	○夕食【テーブルマナー】 「いただきます」（105） 「ごちそうさまでした」（105）	・ レストラン
19:00	○プログラム⑤ 【自分と向き合う振り返り】	・ 研修室
19:45	○プログラム⑥ 【PV作りガイダンス】	・ 研修室
21:20	○仲間との情報交流 ○健康観察、諸連絡 ○就寝準備 ◆事務局・スタッフミーティング	・ 研修室 ・ E108
22:00	○就寝	



プログラム③ガイドウォーク



プログラム③ガイドウォーク



プログラム④イグルー作り



プログラム④イグルー作り



プログラム④イグルー作り



テーブルマナー



プログラム⑤振り返り



プログラム⑥PVの作り方

日程：3日目

2024. 12. 27<金>

時刻	活 動 内 容	備 考
6:30	○ 起床 ・ 起床時刻前に目が覚めても騒がない。	
7:00	○ 朝食（ビュッフェ） 「いただきます」（106） 「ごちそうさまでした」（106） ○ 部屋の清掃	・ レストラン
8:30	○ プログラム⑦ 【ふるさと西尾を見つめなおすPV絵コンテ作り】	・ 研修室
10:00	○ プログラム⑧ 【ふるさと西尾の魅力を伝えるPV作り】	・ 研修室
11:30	○ 昼食 「いただきます」（201） 「ごちそうさまでした」（201）	・ レストラン
13:00	○ プログラム⑧ 【ふるさと西尾の魅力を伝えるPV作り】	・ 研修室
17:30	○ 夕食 「いただきます」（202） 「ごちそうさまでした」（202）	・ レストラン ・ 財布を配る。
19:00	○ PV発表打ち合わせ ・ 打ち合わせが必要な班は、ここで最終打ち合わせを行う。 ・ 終了している班は館内で土産物を購入してもよい。	・ 研修室
20:30	○ 入浴	・ 天然温泉
21:20	○ 仲間との情報交流 ○ 健康観察、諸連絡 ○ 就寝準備 ◆事務局・スタッフミーティング	・ 研修室 ・ 財布を預ける。 ・ E108
22:00	○ 就寝	



プログラム⑦絵コンテ作り



プログラム⑦絵コンテ審査



プログラム⑧PV作り



プログラム⑧PV作り



プログラム⑧PV作り



プログラム⑧PV作り



プログラム⑧PV作り



プログラム⑧PV作り

日程：4日目

2024.12.28<土>

時刻	活 動 内 容	備 考
6:30	○ 起床 ・ 起床時刻前に目が覚めても騒がない。	
7:00	○ 朝食（ビュッフェ） 「いただきます」（101） 「ごちそうさまでした」（101） ○ 部屋の清掃 ○ 荷物整理	・ レストラン
8:30	○ チェックアウト ・ 荷物は指示された場所へ運ぶ。	
9:00	○ プログラム⑨ 【ふるさと西尾PV発表】	・ 研修室
10:00	○ プログラム⑩ 【4日間の振り返り】	・ 研修室
11:30	○ 昼食 「いただきます」（102） 「ごちそうさまでした」（102）	・ レストラン ・ 財布を配る。
12:10	○ 修了式・閉塾式 司会（榊原） 1 始めのことば（東中野） 2 トヨタ白川郷自然学校代表あいさつ（山田俊行先生） 3 修了証授与（一色中 ） 4 塾生代表お礼のことば（吉良中 ） 5 団長あいさつ（平坂中 齋藤校長） 6 終わりのことば（東中野） ※記念撮影	・ 催事ホール ・ 服装は、各校の学校指定ジャージ。
12:40	○ 出発 ○ ひるがの高原SA トイレ休憩 ○ 美濃加茂SA トイレ休憩	・ トイレに行く
16:30	○ 帰着 ・ 帰着式はバス内で行う（全員から一言ずつ）。 ○ 解散	・ 市役所北駐車場



プログラム⑨PV発表



プログラム⑨PV発表



プログラム⑨PV発表



プログラム⑨PV表彰



プログラム⑩振り返り



プログラム⑩振り返り



修了式 修了証授与



閉塾式 塾生代表のことば





リーダーに大切なことが分かったリーダー養成塾

西尾中学校

僕は小学校でも中学校でもリーダーを経験してきました。しかし、リーダーという責任を背負いすぎて、困ったり迷ったりしても一人で抱え込んでしまい、周りに相談しながらみんなで解決することができませんでした。そこで、このリーダー養成塾では、よりよいリーダーになりたい、そしてみんなに頼られるようなリーダーになりたいと思い、挑戦することにしました。4日間の研修の中で、特に心に残ったことが3つあります。

1つ目は特別プログラムです。稲垣教育長さんからのリーダーの人望についてのお話です。リーダーには仲間を思いやる心、みんなの意見をまとめ上げて発表する力、そして、この心と力を姿で見せることが大切だと知りました。それまで、自分の中で描けていなかった理想とするリーダー像が、少しずつ具体的になっていきました。

2つ目はナイトハイクです。初めての体験で、最初は上手く歩けなくて恐怖心があったけれど、歩いていくうちに雪に慣れていきました。みんなで声をかけ合いながら楽しむことができたことで、改めて仲間の大切さを感じた瞬間でした。また、ナイトハイクの途中で、このリーダー養成塾に参加して感じた、自分が理想とするリーダー像を一人で考える時間がありました。今までの自分自身のリーダーとしての姿を思い返ししながら、これから目指すべきリーダーとしての姿を考えることができました。

3つ目はイグルー作りです。最初は本当に完成できるのか不安でした。それでも、みんなで声をかけ合い、イグルー作りに取り組みました。よりよいものを作り上げるためにチームの仲間でアドバイスを出し合い、それをみんなが受け止めてくれました。チーム全員が一人一人の考えを大切にできたからこそ、作り上げたときの達成感は素晴らしいものでした。イグルーを作る前に説明をしていただいた、「体験をしたら覚えることができる」という言葉がよく分かりました。

僕はこのリーダー養成塾を通して、リーダーに大切なことや仲間のありがたみなど、多くのことを学ぶことができました。次は、中学校に戻ったときに仲間から頼られる存在になっていきたいです。

リーダーとしての大きな成長

西尾中学校

「自分から動く」。僕が考える、リーダーに大切なことです。これは、特別プログラムでの稲垣教育長さんによる講話の中の「心・力・姿」のうち、「力」にあたる大切なことだと再確認できました。僕は自分から動くことができるようになりたいとリーダー養成塾に参加し、特に2つのプログラムにおいて深く学びました。

1つ目は、イグルー作りです。僕は、全てのプログラムの中で、このプログラムを一番楽しみにしていました。だからこそ、絶対に成功させたいという思いが強くありました。その思いを実現するため、「ここに作ろう」「ブロックが足りないよ」と、自分から声をあげました。その結果、きれいなイグルーを作ることができました。自分から声をあげることでグループの協力体制がつくられ、イグルーを完成させたときにはとても大きな達成感がありました。この体験を通して、自分が大きく関わって何かを成し遂げることが大きな達成感につながることを実感しました。そして、成功させたい「心」は、自分から声をあげていく「力」につながっていくのだと学びました。

2つ目は、PV作りです。イグルー作りで自分から動くことに手ごたえを感じていた僕は、このプログラムでも自分から動いていけるという自信をもって臨みました。PV作りが始まり、僕はすぐに自分の考えていた構成をチームに提案しました。しかし、それは決して分かりやすいPVとは言えないことに気づきました。その後、チームのメンバー全員で話し合うことで、納得のいくPVを作ることができました。この体験から、周りの人たちは自分の思いつかない発想をもっているのだと分かりました。また、リーダーだからこそ、周りを引っ張ってだけでなく、周りの意見を聴くことが大切なのだと感じました。

2つのプログラムを通して、自分の「心」は「力」につながり、それが成果や達成感をもたらすことや、自分では思いつかない意見を聴くことが大切だということを学びました。これはリーダーにとって、とても大切な考え方だと思います。これからは、この経験を生かして、仲間の意見を聴くことを大切にするとともに、「心」や「力」を「姿」として表し、仲間からの信頼を得られるリーダーになっていきたいです。そして学級や学年、学校が明るく過ごしやすい場所になるようにはたらきかけていきたいです。

自分を変えてくれたリーダー養成塾

西尾中学校

私はリーダー養成塾を通して、以前の自分と考え方などを変えることができた場面が3つあります。

1つ目は、「相互理解の深化」です。私はリーダー養成塾に行くまでは、集団で何かを考えたり行動したりすることは、さまざまな視点から考えが出され、作業をすばやく行うことができるというよさよりも、みんなの意見をまとめ、息を合わせて行動することの大変さの方が大きいと思っていました。

しかし、みんなで協力して何かを成し遂げるプログラムを通して、楽しみや喜びを分かち合えたり、一人では絶対にできないこともできたりするというすばらしさもたくさんあることがわかり、集団で行動することにも多くの意味があるのだという考えに変わりました。

2つ目は、「森の生き物たちの知恵を学ぶガイドウォーク」です。私はこのプログラムで、森の生き物たちがそれぞれの個性を活かして生活していることを知りました。しかし、それと同時に、自分は今までリーダーをやる上で、あまり自分の個性を活かして行動することができていなかったことに気づくことができました。これからは自分の個性をしっかりと活かしていきながら、リーダーとしてがんばっていきたいと思うきっかけとなりました。

3つ目は、「PV 作り」です。私たちのグループでは、西尾市の偉人の凄さを伝えるためのPVを作りました。しかし、最初に絵コンテを描いたときには、その偉人が何をしていたかが伝わりづらいものになってしまい、あまり上手くできませんでした。その後、同じグループの人たちと協力して意見を出し合ったことで、西尾市の偉人の凄さがしっかりと伝わるPVを作ることができました。さらに、PV発表で見事2位を獲ることができ、一人でがんばるよりもみんなでがんばって何かを作る方が楽しく、何かを成し遂げたときには大きな達成感が得られることがわかりました。

リーダー養成塾で学んだことを活かして、自分の理想とする「自分の個性を活かして、全体を見て行動できるリーダー」に少しでも早く近づけるようがんばっていきたいです。

自分の理想を知ったリーダー養成塾

西尾中学校

私の理想のリーダー像は、物事をさまざまな角度から見ることができ、誰とでも楽しく関わるができるリーダーでした。私は学校生活を送るなかで、今の自分が理想のリーダーになるために足りない力があることを実感するタイミングが何度かありました。「自分に必要な力を市内のリーダーが集まる場所で学びたい、そして今ある自分の力をもっと伸ばしていきたい」という思いで、このリーダー養成塾に挑戦しました。経験を積んでいくなかで、特に大きな学びになったことが2つありました。

1つ目はイグルー作りです。今まで、私の中のリーダーというものは誰にも頼らず、一人で解決していくという認識でした。しかし、イグルー作りでは助けてほしいときに「少し手伝ってくれない」と声をかけると、すぐに「いいよ」と返して気持ちよく助けてくれたり、少し間違えても励ましの言葉で助けてくれたりする仲間が存在がありました。そのとき、「リーダーという立場でも助けてもらっていいんだ」という認識に変化したのと同時に、できないことを一人で解決しようとするよりも、力を貸してほしいと言葉に出すことで、物事がよりよい方向に進んでいくのだと思いました。

2つ目はPV作りです。PV作りでは仲間の大切さをより知ることができました。その中でも、班の仲間が言っていた「一人じゃ何もできない」という言葉が心に響きました。私もメンバーの一人として意見を言うと、「よいと思うけれど、こうなるかもしれないね」と言われ、「そこまで見ることはできていなかった」と思う場面が何度かありました。学校にいるときも一人でじっくりと考えていると、見えていない部分が必ずあり、そこから新たな問題が発生してしまうという経験が何度もありました。だけど、仲間がいて、一つの物事に対していろいろな考え方を出し合うことで、できる限り問題を少なくすることができることを改めて実感することができました。

この2つの経験を通して、私にとっての新しい理想のリーダー像ができました。それは、そのときの状況をよく理解して適切な判断ができる、ということです。その新しい理想ができた今、リーダー養成塾で学んだことを学校で伝えていくことはもちろん、自分が経験したことを信じ、少しでも理想のリーダーに近づけるように日々努力を続けていきたいです。

楽しむことの大切さを学んだリーダー養成塾

鶴城中学校

これまで僕は、自分の思うリーダー像について考えてきました。自分がリーダーになるため必要なことは何かを理解出来ていなかった事によりようやく気付くことができたので、リーダー養成塾に行く事を決意しました。結団式、研修会、さまざまな過程を通し、我々塾生は 12 月 25 日に生まれ育った西尾市を出発しました。そして 4 日間の研修を終えた今、特に印象に残っているのは、稲垣教育長さんによる特別プログラムです。

このプログラムでは、一人一人が考える「リーダーに必要なもの」を紙に 1 つの単語で書くというものでした。そのとき僕は「楽しむ」と書きました。その後、みんなの思うリーダーに必要なものが前に貼り出されると、さまざまな意見が出ましたが、そのどれもが各々のリーダー像に近づくための大切な事であると思いました。その後の講習でリーダーに必要なのは「人望」であり、それを築き上げるのに必要になるのが「力、心、姿」だと学びました。そして僕は、自分のリーダー像に必要な「力」とは何かを考える事を目的に 4 日間を過ごす事に決めました。

それからいくつかのプログラムを経て、3 日目に PV 作りが始まりました。このプログラムでは、沢山の壁にぶつかりました。例えば、何を中心に進めていくのか、時間管理、分担作業など、とにかく沢山です。それでも、そんな壁を見つけた事をチャンスだと思って、一人一人の個性を生かしたり、いろいろな人に助けってもらったりしながら、仲間とともに苦労を楽しむことができました。そして 4 日目、最後の PV 発表会するとき、僕のチームは第一位という賞を獲る事ができました。そのときの仲間の顔は笑顔で溢れていましたが、思い返してみると、結団式のと時から僕たちは何事にも全力で、そして笑顔で取り組んでいました。そんな仲間といるときの僕も、また笑顔になっていました。

「人を愛し、人に愛される」それが僕のリーダー像です。仲間たちと過ごしたこの経験から、僕の描く未来への道に必要な力は「楽しむ力」だと気づき、学ぶことができました。

「楽しむ」ことは、人を巻き込み笑顔にさせることができると同時に、対応を間違えれば場の雰囲気悪くしてしまうこともあります。力を正しく使うことで人に愛されるリーダーになれる事にも気づきました。これから環境が変わり、僕の周りを囲む人が変わっていても、自分から「楽しむ」ことで周りを巻き込み、壁を見つけてはチャンスだと思って、助け合い乗り越えられるようなリーダーを目指していきます。

自分の理想のリーダーに向けて

鶴城中学校

僕はリーダー養成塾に参加させていただく中で、まだはっきりとしていなかった「理想のリーダー像」へのヒントやリーダーとしての在り方を見つけてははっきりさせたいと思っていました。僕はこの養成塾でリーダーとして必要なことを、特に 2 つのプログラムから学ぶことができました。

1 つ目は「稲垣教育長さんの授業」です。その授業では、はじめに「リーダーにとって何が一番必要か一言で書く」という課題が出されて、僕は「信頼」だと思いました。僕は、今まで小学校で学級代表や委員長などのリーダーを務めてきた経験から、信頼があることで仲間に対してよりよいリーダーになれると思っていたからです。ですが、稲垣教育長さんは、リーダーにとって大切にしておくべきことは「心」、「力」、「姿」これらを含めて「人望」とおっしゃっていました。僕は、そのことを聞いて、自分自身に足りなかったものを実感することができました。

2 つ目は「イグルー作り」です。チームで連携してブロックの大きさを揃えたり、バランスを考えながら積み上げたりする活動を仲間と協力して行ったことで、イグルーを作りあげたときの感動を深く実感することができました。この感動は一人では味わうことのできないものであり、チームのみんなの協力があってこそできるものだと思いました。そして、クラスや学年で何か 1 つのことを成し遂げたいと思ったときには、力を合わせる大切であると改めて実感することができました。

この 2 つの経験を通して、リーダーにとって大切だと思ったことがあります。稲垣教育長さんの講話の中であった「人望」という言葉の意味です。人望という言葉には、多くの人が寄せる尊敬、信頼、期待の心という意味があります。この言葉に対して僕は、それぞれの意見や個性を尊重して、周りの人や仲間信頼や期待をされるようなリーダーでありたいという、自分の中でのリーダー像がはっきりとしました。このリーダー養成塾で自分自身と向き合い、29 人の仲間と意見を交わしながら成長できたことは、僕にとってとても貴重な 4 日間になりました。今後は、さらに自分の中でのリーダー像に近づけるように日々精進していきたいです。

リーダーの存在を教えてくれたリーダー養成塾

鶴城中学校

私は、自分のリーダー像を固定したい、自分をもっと高めたいという想いを大切に、ふるさとである西尾とは全く環境の違った「トヨタ白川郷自然学校」での4日間を過ごしました。リーダーの存在とはどういうものなのかを、特に教えてくれたプログラムが2つあります。

1つ目は、特別プログラムです。リーダーには「人望」が必要で、「仲間から人望を得るためには、心・力・姿を大切にする。」と稲垣教育長さんがおっしゃっていました。私はその言葉を聴いて、自分には「行動する力、呼びかけをする力」が足りていないと思いました。また、私は今まで、リーダーとは自分の気持ちは控えめにして、仲間の気持ちを尊重することが大切だと思っていました。しかし、リーダー養成塾でのみんなの姿を見たり、プログラムを通して学んだりしていくうちに、自分の気持ちを伝えることも大切だと気がつきました。

2つ目は、イグルー作りです。チームの仲間と協力して、「こうやってつくろう。」、「これやってほしいな。」と仲間に自分から頼み、行動することができました。このことから、リーダーは一人でがんばりすぎるのではなく、仲間に頼ることも大切だと感じ、自分にまだまだ足りていなかった「力」を少し身につけることができたと思いました。また、イグルー作りでは、ラストのブロックを積むときに中に入っている人に向けて「ラストだよ。」と伝えます。声が雪に吸収され、中の人には全く声が届かないということがありました。振り返りのときに、「仲間に想いを伝えようとしていても、仲間にはその想いが届いていないことがあると感じました。」とグループの仲間が言っていました。その意見を聴いたとき、とても共感しました。

この2つのプログラムを通して、リーダーとは、「心・力・姿」を大切にして、自分の気持ちを仲間に伝えつつ、仲間の気持ちを聴くことが大切であることや、リーダーが一人でがんばりすぎるのではなく、仲間に頼ることもあってよいことを学びました。そして、仲間に想いを伝えるときは、伝わってないこともあると考えて行動しないといけないことも知りました。この4日間の経験を生かして、私は、「仲間からの人望を得られ、仲間に寄り添える」そんなリーダーになっていきます。

新しい自分を引き出してくれたリーダー養成塾

鶴城中学校

私は他校の生徒と関わり、いろいろな考え方を見つけたいと思い、リーダー養成塾への参加を希望しました。

特に自分の考え方が変わったプログラムが2つあります。

1つ目は、相互理解の深化です。相互理解の深化では、漢字を見つけるクイズで一人で考えた時よりも人数が多くなったときのほうがたくさんの漢字がみつけれられて、フラフープでは人数が多くなればなるほどバランスを崩しやすく、難しいということを経験して知りました。この経験をクラスに例えると、フラフープのように人数が多いと意見や考えも人によって違うのでクラスをまとめるのが難しくなってしまいます。しかし、漢字を見つけるクイズで学んだように、意見交流のときにたくさんの意見が出ることや、クラスだから大人数でできるというよさがあると経験を通して感じました。

2つ目は、自分と向き合う振り返りです。イグルー作りの振り返りで「イグルーの中には音が聞こえづらく、普段私たちが声をかけているつもりでも相手には届いていないかもしれないということがわかりました。」と言った塾生がいて、いつも声かけをしていたつもりでも届いていなかったかもしれないと思い、相手に届くような声かけが大切だとこのとき学びました。また、それは声の大きさだけが関係しているのではなく、「いつ・どこで・どのような形で」伝えていくかを考えていかなければいけないことを学ぶことができました。私はこのような考えをもっていなかったもので、リーダー養成塾に参加できてよかったと改めて思いました。

今回、他校の生徒と関わるという貴重な時間の中で、私は自分の未熟さを感じました。しかし、それよりもリーダーとして成長するためのたくさんの課題を見つけることができました。これからは、これらの課題をこなして仲間から人望を得られる、いつでも感謝の心を忘れない人になりたいです。そして、自分の見つけた理想のリーダー像を大切にしながら、今回だけで満足せず、このリーダー養成塾で学んだことを中学校生活で活かしていきます。さらに、社会に出てからもしっかりと力を発揮できる、立派なリーダーになります。

本物のリーダーを学んだ

平坂中学校

僕はこのリーダー養成塾を通して、本物のリーダーとはどのような人かを見出すことができました。このリーダー養成塾に行く前は知らない人ばかりで不安でした。しかし、バスの中やプログラム①の「相互理解の深化」で、初めて出会った仲間とのコミュニケーションをとることができ、4日間で大切なことを学ぶきっかけができたと思いました。そして、トヨタ白川郷自然学校という西尾市とは違った環境で、新しい仲間とともに自分の理想のリーダー像を見つけることができました。

4日間を過ごす中で自分が考えた本物のリーダーは、「自分」をしっかり出し、周りにいる人をいい意味で巻き込み、その人の個性を尊重することだと考えました。そのように考えさせてくれたプログラムの1つが「PV 作り」です。僕たちのチームでは「特産品」の一つである「抹茶」にテーマ設定をしました。話し合う中で、PV の登場人物を「人形」と決めました。登場人物を決める際にはチームで意見が異なり、なかなか前へ進むことができませんでした。この話し合いで出てきた意見は、「人形だけ」でやるのか、「人間だけ」でやるのか、「人形と人間混合」でやるのか、3つに分かれました。チーム全員でそれぞれのメリットやデメリットを出し合い、議論したことで、みんなが納得できるようにしました。このような場面でも自分だけで考えるのではなく複数の人で考えることで、さまざまな意見から1つの意見になるように話し合うことが大切だと思いました。この経験を通して、まず自分が考えていることを広め、自分が言いたいことをわかってもらうことが本当に肝心だと思いました。この話し合いがあったからこそ、僕たちの PV は完成しました。

この4日間の経験で、コミュニケーション能力を身につけることの大切さや、1つ1つの意見を尊重することで自分たちが目指す目標を達成することができると学びました。それを見つけられたのは、9月の結団式でかけがえのない仲間たちと出会えたからだと思います。

そして、このリーダー養成塾を支えてくださった、団長や引率者の先生方、事務局の方々、トヨタ白川郷自然学校の方々、実行委員の皆さま、家族などのおかげで、このリーダー養成塾が僕の一生の思い出と経験になりました。4日間を通して、他者の意見を尊重しつつ、自分の意見をしっかりとと言えることこそが本物のリーダーだということを学びました。この経験を自分の学校生活で活かし、よりよい学校作りに貢献していきます。

みんなの「友達リーダー」

平坂中学校

僕はこのリーダー養成塾で、リーダーについていろいろなことを学びました。さまざまなプログラムでリーダーについて学び、自分のなりたいリーダー像が固まりました。それが「友達リーダー」です。

僕は気張った感じが苦手で、やるならしっかりやるけれど、楽しむ気持ちを一番大切にしていきたいというタイプです。そこで、強く厳しくは言わないけれど、友達感覚でみんなを支える、縁の下の力持ちのような人になりたいと思い、自分のリーダー像を「友達リーダー」にしました。

「友達リーダー」に向け、PV 作りでは率先して仕事をしたり、なかなかうまく進まないときに声掛けをしたりするなど、ムード作りを意識しました。ナイトハイクやイグルー作りでは本気で楽しんで、本気で作り、本気で学びました。仲間との交流など自分なりにがんばり、目ざしたものととても近づいたリーダー養成塾になりました。正直なところ、最初はとても不安でしたが、仲間が話しかけてくれたり、先生方がいい雰囲気をつくってくださったりしたおかげで自分も一歩踏み出し、周りの人に話しかけることができました。

僕がリーダー養成塾を終えて最も強く感じたことは、学びは周りに広がっていくということです。学校の友達にリーダー養成塾の思い出話をしているとき、みんなが「楽しそう。」とか「そんな学びがあったんだ。」ということを書いてくれました。リーダー養成塾の学びは周りに広がり、やがて、みんながリーダーの心をもったすばらしい学校になっていくのではないかと強く感じました。リーダー養成塾を終えた今、僕は授業などの活動に積極的に参加し、みんなとの授業が楽しく学べる雰囲気になるようがんばっています。これからも継続して「友達リーダー」を目指してがんばります。

このリーダー養成塾で学んだことを活かして、周りに声をかけて雰囲気をつくったり、困っている人の相談相手になったりしていきたいです。そして、学校だけでなく社会に出ても、周りの人たちを支えたり、楽しませたり、やる気を出させてあげたりできる「友達リーダー」になっていきたいです。本当に貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

人望とは何かを学んだ

平坂中学校

私はもともと、人とコミュニケーションを取ることに苦手意識がありました。これまでの学校生活を振り返り、もっとうまく指示をしたい、みんなと一緒に行動したい、みんなと輪をつくりたいと願い、リーダー養成塾に参加しました。

最初はやはり思うように話せず、あまりみんなと会話ができませんでした。そのような中、私の印象に残ったのは、特別プログラム「リーダーのあり方」での言葉です。リーダーにとって大切なことは人望を得ることです。人望が人を動かす最大の要素となります。リーダーにとって必要不可欠な要素です。人望を得るためには「力」、「心」、「姿」が大事です。人と関わる手段が「力」、優しさをもつことが「心」、思いを行動に移すことが「姿」だと学びました。最初は、3つを兼ね備えることなどできるのか、と感じました。足りない部分を身につけていくためにどうすればよいか、みんなと話したいと思いました。何から話し出せばいいのか悩みました。そのようなとき、みんなが話しかけてくれました。周りをよく見ると、みんな自分のリーダー像に向かって一心にがんばっているのだと気づきました。そのようなみんなの姿に惹かれ、私も自分の目指すリーダー像に近づきたいという思いがより強くなりました。そして、ふだん以上に人と言葉を交わす努力をしました。

リーダー養成塾 4 日目には PV 作りがありました。4 日目には誰とでも話せるようになってきて、自分から行動できるようにもなっていました。そのことから、特別プログラムの意味は、どのような人でも努力をすれば「力」、「心」、「姿」の3つを兼ね備える人に近づける、ということだと思いました。

リーダー養成塾が終わった後も自分のリーダー像をよりはっきりさせ、人望を得るために今まで以上に人と関わっていきたいです。今までたくさんリーダーの経験をしてきて、今もリーダーとして人前に立っているのも、背中で語れる理想のリーダーにもっと近づいていきたいです。

リーダーの素質を学べた 4 日間

平坂中学校

私は、今まで以上にみんなに声をかけていきたいと願い、リーダー養成塾に参加しました。また、自分の目ざすリーダー像を見つけることも意識して過ごしました。4 日間で特に印象に残っているものが2つあります。

1つ目は、「イグルー作り」です。イグルー作りは、初めてみんなで1つの物を作る、協力が必要なプログラムでした。私は初め、何も考えず「寒いねえ。」など、とりとめの話をしてながらただひたすら作っていました。しかし、時間が足りなくなってきた、そのままでは間に合わないことがわかりました。そのとき、どこが足りていないかの話し合いが始まり、私もどこをやるといいか聞くことができました。イグルー作りでは、ひよりさんの意見が強く心に残っています。それは、「イグルーの中にいると自分たちが声をかけているつもりでも聞こえていなかったから、ふだん声をかけて伝わっていると思って相手には伝わっていないことがある。」という意見です。まさに私も同じような経験したことがあったので、はっとしました。自分の意見を言うだけでなく、それがしっかりと伝わっているのかを確認することが必要だと実感しました。

2つ目は「PV 作り」です。私たちのチームでは西尾市の偉人についての PV を作りました。絵コンテの作成時には、偉人ではなくその人が作ったものの紹介になっていると、アドバイスをいただきました。そこから、どうすれば偉人の紹介になるのかを対話し、それと同時に自分が苦手だった声掛けや提案ができました。何度も撮り直し、細かい作業で大変でしたが、最後まで諦めず協力することができました。この活動を通して、対話の大切さを知ることができ、更に2位を獲ることもでき、やりきった達成感、喜びを強く感じました。

リーダー養成塾を通して、他者に自分の思いを伝えることの大切さを学びました。同じ立場でもそれぞれ個性があり、いろいろな考え方があるからこそ、誰にでも声をかける必要性を感じました。信頼を得られるリーダーになりたいという理想を見つけることもできました。今回学んだリーダーとしての素質や克服できた声掛けを学校生活でも活かし、みんなに憧れられる存在になれるよう精いっぱいがんばっていきます。

大切なことを教えてくれたリーダー養成塾

寺津中学校

今回のリーダー養成塾に参加したことで、自分自身をよく知るきっかけとなりました。僕なりにリーダー像をもっていました。多くのプログラムで活動する中で足りないところに気づくことができました。

ナイトハイクのプログラムでは、雪深い夜の森で静かに自分自身と向き合いました。その後、仲間とリーダーについて話し合う中で、先頭に立ち引っ張ってだけでなく、仲間の歩幅に合わせて寄り添うことも大切であると感じました。

ガイドウォークのプログラムでは、個性について考えました。エゾシカは他のシカより毛深いなど寒さに適応した個性をもっている話を聞きました。リーダーとして、苦しい場面になったとき、それを乗り切るだけの個性が必要だと感じました。しかし、僕には自信をもって「これが僕の個性です」といえるものがまだありません。個性を見つけ、磨いていけるようにしたいと感じました。

稲垣教育長さんの講話を通して、相手を思いやり助けようとする心、それを実行するための力、それを踏まえて他の人に姿で見せることの3つのリーダーとしての大切なことに気づくことができました。その中で、僕には一歩踏み出す勇気が無く、実行するための力が足りていないと感じました。失敗を恐れずに、多くのことに挑戦することでリーダーとしての力が伸ばせるのではないかと思います。

PV作りでは、作品をよりよくするために班の仲間と多くのことを話し合いました。その中で、お互いの考えや思いがうまく伝わらないとき、逆によく伝わったときがありました。考えや思いをよりよく伝えるためには、目的や目標に沿って提案することや進捗状況をみながら適切なタイミングで話をする必要性を感じました。

一つ一つの活動を通して、自分と向き合うことで、リーダーとして足りない多くのことに気づくことができた4日間でした。このようなことに気がつくことができたのも、講師の先生だけでなく、仲間同士で交流を深め合う場面があったからこそだと思います。これからも仲間と過ごす時間を大切にしながら、自分の目指すリーダー像にさらに近づくために、できることを1つずつ増やしていきたいです。

自分のリーダー像が明確になった4日間

寺津中学校

私は、固定観念に捉われず、みんなのアイデアや考え方を知り、参考にしながら意見をまとめあげることができるリーダーになりたいと思い、リーダー養成塾に参加しました。事前研修や4日間のリーダー養成塾を通して、普段の教室では学べないような数多くの貴重な経験をする事ができ、たくさんの学びを得ることができました。

まず、コミュニケーション能力が必要不可欠だと思いました。正直、最初は不安でしたが、29人の仲間と共に過ごし、バスの中やプログラムの活動の中で全員の意見を聞く時間がたくさん設けられました。事前研修ではなかなか話せなかった仲間も日を増すごとに仲良くなり、29人全員と話することができました。コミュニケーションの取り方は人それぞれでしたが、話した事で仲間の事をもっと知りたいと思ったり、共通の話題ができたりして楽しかったです。

イグルー作りでは、イグルーの中に入れてもらい、雪のブロックを積み重ねるときに支えることや入り口の穴を開けるという貴重な体験をさせてもらいました。外の声が聞こえない、さらに自分の声も相手に聞こえないという状態になったときに、不安から自分がどう行動していいのか分からず、大声で叫びました。しかし雪が分厚く、みんなの返事がなくとても不安でした。無事に穴を開ける事ができたときにみんなの笑顔を見て安心しました。誰かが不安なときに、寄り添って話を聞くだけでなく、微笑むだけでも安心させることができると思いました。私もそういう事ができる人になりたいと心から思いました。

PV作りでは、短い時間で西尾の観光についてどう伝えるのかグループで話し合いを重ねました。その中で3つの大切なことに気づきました。1つ目は誰かが意見を述べているときに反応しながら最後まで話を聞くこと、2つ目は役割分担の重要性、3つ目は結果だけではなくみんなで協力しがんばった過程が大切だということです。

リーダーは、行動力や決断力も大切ですが、成果が出せるように考え、目標を設定し、目標達成までの道筋を一緒に考えることも大切であると感じました。また、メンバーに笑顔で寄り添うことのよさに気づきました。今回の経験を活かし、自分に何ができるかを考えて行動できるリーダーになりたいです。

自分らしいリーダー像を掴んだ4日間

福地中学校

僕は、この4日間のリーダー養成塾を通して、リーダーとは必ずしもカリスマ的な存在である必要はないと気づきました。確かに、多くの人が注目するような力強いリーダーシップも大切ですが、リーダー養成塾の仲間と活動する中で、自分にはリーダーシップもありながら、周りに気を遣えて、周りを活かせるタイプのリーダーが合っていると感じました。

特に学びの大きかったプログラムは、西尾市 PV 作りです。PV 作りを通して、集団で課題を解決するためには、みんなが自分の意見を言いやすく、安心できる雰囲気大切だと学びました。始めの題材探しでは、みんな遠慮してしまい、意見を言いにくい雰囲気になってしまいました。僕は「なんとかしなくては」と焦って自分ばかり話してしまい、その結果、うまく話し合いが進みませんでした。学校の体育祭の応援合戦で僕は団長を務めましたが、アイデアを出し合う場面でも同じような状況になってしまったことを思い出し、このままではいけないと思いました。そこで、誰かが発言しようとしているときは、その人がしっかり話せるように相づちを打ったり、前向きなリアクションを心がけたりしてみました。すると、みんなの表情も明るくなって、それぞれが自分の意見を出していけるようになりました。

PV 作りを通してもう1つ学んだことがあります。それは、集団で課題を解決するためには、大変だと感じることを率先して引き受けることが必要だということです。PV のプレゼンテーションでは、体を張ってやらないといけない「ネコ」の役をやることで、自分もこのチームの一員として盛り上げました。

影響を受けた言葉は、初日のプログラムで教わった「リーダーにとって最も大切なものは、心と力、そして姿。これを総称して『人望』と呼ぶ。」という言葉です。「人望」があるリーダーは、周りから信頼され、協力を得ることができ、どんな困難も乗り越える力をもつことができるという見方は、僕にとって新しい発見でした。

周りの人を大切にし、仲間と共に成長できるようなリーダーを目指して、日々努力していきたいです。そして、ここには書ききれないリーダー養成塾で学んだ多くのことを、これからの学校生活でも、常に意識していきたいです。

自分を成長させてくれたリーダー養成塾

福地中学校

私は、学校では決まった子と一緒にいて、人と関わるのがとても苦手でした。そんな自分を変えるために、知っている子がいない新しい環境であるリーダー養成塾に参加したいと考え立候補しました。リーダー養成塾には人間関係の築き方と私の求めるリーダー像を求め参加しました。リーダー養成塾で見つけた理想のリーダー像は優しく、伝わる声かけができるリーダーです。私は初めとても緊張してしまい、積極的に意見を言ったり、自分から話しかけに行ったりすることができませんでした。しかし、相互理解の深化の時間に少し自分から質問したり話しかけに行ったりすることができました。話しかけるとみんな優しく自分にはない視点をもっていたので、とても楽しく話すことができました。周りのみんなの優しさのおかげでとても充実した時間を過ごすことができたので、私も人に優しく、話しやすい雰囲気を作れる人になりたいと思いました。

そんな気持ちで挑んだ2日目の振り返りの時間に「イグルーの中は音が聞こえづらく周りの子が声をかけてくれていても聞こえづらかった。声をかけたつもりでもその声が届いていないことがあることを知った。」と言っていた子がいて、私のクラスの中でもそのようなことがきっとあったらと思うました。せっかく声かけをしても伝わらなくては意味がないと思ったので、「伝わる」「伝える」声かけが大事だと私は思いました。そこから私の求めるリーダー像は、「優しく伝わる声かけができるリーダー」になりました。みんなと過ごした時間はとても長いようで短くとても充実していました。普段ではできない経験はもちろん、何気ない会話からも学ぶことがたくさんあり、とても中身の濃い4日間でした。

私はリーダーとしてはもちろんのこと、人としても、とても成長することができたと思います。リーダー養成塾でこんなにも多くのことを学ぶことができたのは、送り出してくれた学校、支えてくれた家族、一緒に楽しく学んだ仲間、その他にもいろいろな人のおかげだと思うので、感謝の気持ちを忘れず、これからも人をまとめる立場であるリーダーとして、成長していけるように頑張っていきます。

様々な人望を学べたリーダー養成塾

東部中学校

僕は今まで児童会役員や学級代表など、様々なリーダーを経験してきました。しかし、学年集会などの意見を出す場では、すぐに言葉がまとまらなかったり、勇気が出ず、発言をためらったりしていました。そのため、僕は、このリーダー養成塾を経て、自分の考えや思いを即座に言葉にできるようになりたいと思っていました。

1日目の特別プログラムや相互理解の深化では、みんなが意見を出してくれるという気持ちがあり、自分の思いが言えませんでした。しかし、ナイトハイクでは、積極的に声を出すことを意識し、「雪の段差ができているよ、滑りやすいよ、止まるよ」など実行することができました。この声かけにより団結力が生まれ、みんなで協力することの素晴らしさを感じることができました。2日目の中で印象に残ったことは、イグルー作りです。どんな形にするのか、どうしたら崩れないかなど作戦を考えたり、ブロックを作る係・積み上げる係などの役割分担をしっかりと決めたりしました。僕と友達はイグルーのブロックを作る係になり、二人で協力して効率よく作ることができました。ときどき周りを見て、困っている人がいないかを確認し合いました。自分の担当箇所だけでなく、誰が何をやっているのかを把握し、どこの作業が遅れているかを確認することにより、人が必要な箇所に気づき、そこを手伝うなど臨機応変に行動することができました。そして、みんなで協力することによって、綺麗なイグルーを作ることができたと思います。また、イグルーの最後のピースを入れるとき、イグルーの中にいる二人に何も聞こえなくなってしまうと思い、声をかけながら最後のピースをはめました。しかし、振り返りの時間で、中にいた人から僕たちの声は聞こえなかったと意見が出ました。伝わっているかの確認も必要だったと思いました。そして、最後のPV作りでは、僕たちの班は協力すること、臨機応変に動くこと、そしてみんなの思いを1つにすることを意識しました。わかりやすく伝えたい、3位以内に入りたいと目標を立てたことで3位になることができました。この4日間を通して自分の殻を破り、考えを言葉にするという目標は達成できました。また、開塾式で「人を光らせている人が光っている人」という先生の言葉がとても印象に残りました。これからの学校生活では、リーダー養成塾で身につけたことを活かし、咲き誇っていこうと思います。

声を掛け合う大切さに気づいたリーダー養成塾

東部中学校

私は生徒会長のような表立つリーダーという立場より、副会長や書記のように裏で支えるリーダーの立場が目標でした。だから、結団式のときに、リーダー像の方向性が違うかもしれないと思い、養成塾に応募したのを後悔していました。ですが、事前研修会とこの白川郷での研修は、自分が想像していたものとは違い、みんながそれぞれのリーダー像に向かって進んでいて、誰一人同じリーダーを目指してはいませんでした。ある人は表立つリーダーに、ある人は前で堂々と話せるリーダーに。仲間の思いを聞いていくうちに、リーダー像は1つではないのだなと気づかされました。思いは違うけれど、成長したい気持ちはみんな同じで、何事にも一生懸命に取り組んでいくと、何年も一緒にいるかのような感覚になる程打ち解けることができました。チームの中で意見を交流し合い、協力し、達成できたとき、そして、相手の意見を否定せずに受け取り、自分の意見もまっすぐ伝えて通じ合ったとき、そのようなときに得られる達成感や楽しさはこんなにも大きいのだと実感しました。特別プログラムで教えてくださった「心、力、姿」では、自分の考えだけではみんなをまとめることは難しいけれど、誰かを頼ったり、助けを求めたりすることで、クラスをまとめることができたり、みんなが付いてきてくれたりするということを知ることができました。私の中でリーダーは、自分一人で全て担うものだと思っていたので、新たなリーダー像を知ることができ、自分の目指すリーダー像が見えてきたように感じました。白川郷での研修で、私が一番心に残っているものは、プログラム1の相互理解の深化と、プログラム4のグループアクティビティです。プログラム1では、課題の解決策がわからず、みんなとの気持ちが少しずれてしまったけれど、最後にはみんなで考えて答えを導き出すことができました。プログラム4では、時間内にイグルーを作り終わることができなと感じたときに、仲間の掛け声をきっかけにみんなで作戦を立て直し、グループで協力して完成させることができました。私はあまり声を出すのが得意ではないけれど、そのときは自分から仲間に声を掛けたり、状況を把握して何をすべきかを考えたりすることができました。学校ではみんなの気持ちが同じではないので、まとめることは難しいと思いますが、この学びを生かし、私なりのリーダーとして、声を掛け合い、仲間に助けてもらいながら、周りをよく見て行動できるよう、今後の学校生活を過ごしたいです。

信頼されるリーダーになるために

一色中学校

僕は西尾とは違う環境の中でいかに自分を出せるかを考えて、このリーダー養成塾に臨みました。リーダー養成塾の初日、いろいろな人の支えを感じながら、親に見送られ、家から離れた白川郷に到着しました。先生たちをはじめ、バスガイドの方や現地のスタッフのみなさんなど、多くの人に関わって、僕たちのリーダー養成塾が開催されていることに気がつきました。

最初に行われた特別プログラムでは、リーダーに必要なものを学び、人望を得るには姿で見せることが大切だと知りました。このプログラムを通して、リーダーについて具体的に考えることができました。相互理解の深化のプログラムでは、アイスブレイクをして仲を深めました。たくさんの課題をクリアするために全員で話し合い、成功したときにはとても達成感があり、嬉しかったです。ナイトハイクでは、動物たちの視点で景色を見ることができました。生き物たちの知恵を学ぶガイドウォークでは、カモシカや鹿のように環境によって異なる特徴や個性があり、自然を利用し、身を守ることや違いがあることを学びました。これは今の僕たちにも置き換えることができると思います。どんな場面であっても、自分を引き出し、みんなの個性を生かして、臨機応変に動くことがリーダーにとって大切だと感じました。イグルー作りでは、集団で活動する中で協力することの大切さや、役割分担をして与えられた課題の中で、いかに効率よく進めて改善できるかが鍵になってくると学びました。またイグルーの外から伝えた言葉が、中にいる人にうまく伝わりませんでした。このことから、自分は伝えたつもりでも、相手には伝わっていないことがあることを学びました。PV作りでは、西尾の良さを紹介するために、みんなで話し合っただけで試行錯誤しました。お互いに得意、不得意がありますが、それをチームのみんなで補い合うことで一つになって団結できました。相手のことを考えて動くことが、信頼されるリーダーにとって必要だと学びました。

このリーダー養成塾では失敗から学んだだけでなく、今まで気づけなかったことを知ることができました。これからの日常生活でも、リーダー養成塾で学んだことを最大限活かしていきます。

リーダー養成塾で見つけたリーダー像

一色中学校

僕は小学校や中学校でリーダーをしている中で、本当のリーダーとしての役割ができていないのか分からないことがよくありました。そこで、リーダー養成塾で本当のリーダーには何が必要なのかを探るということを常に考えながら、4日間を過ごしました。そして、その中で自分の答えを見つけることができました。

1日目の開塾式では、委員の方が「光らせている人が光っている人」と言われました。そのときには、僕はその意味がよく分かりませんでした。ただ、何か僕に向かって言われているような感じがし、ずっとその意味について考えていました。そして、その後の特別プログラム「リーダーのあり方について」では、最低限の基本的なリーダーの形を教えてもらい、理想のリーダー像を見つけるための第一歩を踏み出せました。そしてプログラム①「相互理解の深化」では、意見をまとめるリーダーが必要だと思いました。2日目のプログラム④「グループの力を引き出すアクティビティ」では、周りを見て指示をするリーダーが必要で、役割を分担して協力することが大切だと思いました。3日目から4日目の「PV 作り」では、イグルー作りのときよりグループの人数が少なく、もっと協力していかなければなりませんでした。

このようにさまざまな場面で、いろんなリーダーが必要になるということがリーダー養成塾で分かりました。学校生活を思い出してみると、皆の前で話すリーダーだけではできることに限度があります。前で話す人を支えるリーダーや協力するリーダーがいたからこそ、毎回物事が成り立っていったのだと気づきました。今まで僕はみんなの前で話すことができればリーダーになれると思っていました。しかし、実はリーダーはそれだけではないということが分かりました。これからはその場で何が必要なのかを判断し、そのときによって光らせてもらうリーダーも、光るリーダーもできるような柔軟性のあるリーダーになりたいと思いました。これからの学校生活では、リーダー養成塾で学んだこと、考えたことを活かして、それを学年や学校に還元できるように成長し続けたいです。

私を成長させてくれたリーダー養成塾

一色中学校

私は小学校で学級代表や児童会長、中学校で学年代表を経験してきました。クラスでの話し合いのとき、意見が合わずにばらばらになってしまったことがありました。私はそのとき、みんなの意見を上手にまとめる声かけができませんでした。リーダーとしての役割が果たせませんでした。そんなときに、自分の理想のリーダー像を見つけられる機会であるリーダー養成塾を知り、応募しました。

出発式では、みんなと仲良くなれるかな、本当に自分の理想のリーダー像を見つけられるかなと、不安な気持ちがありました。しかし、プログラム①「相互関係と深化」では、たくさんの子が進んで話しかけてくれたので、とても安心しました。他の学校の仲間たちから、自ら行動することの大切さを学びました。

プログラム②「夜の森を感じるナイトハイク」では、普段訪れることのない自分の身長よりも高い雪が積もった真っ暗な雪山を歩いたり、雪に寝転がってとても綺麗な星空を見たりしました。普段の生活では感じることのない言葉では表せられない不思議な気持ちになりました。感覚が研ぎ澄まれるような感じになりました。私はこのプログラムが一番印象に残り、一番楽しかったです。私は一人ではない、周りには仲間がいると感ずることができました。改めて周りを見ることの大切さを学びました。

プログラム⑤「自分と向き合う振り返り」では、異なった意見が出ました。一人一人が考えていることに違いがあり、全員が同じでなくても良いと学びました。

たくさんのプログラムや特別プログラム「リーダーのあり方について」から、思いやりの心、引っ張っていく力、誰かのために行動することを学びました。リーダーには周りのことを見る力が大切なのだと気付きました。このリーダー養成塾で、リーダーに必要なことをたくさん学び、見つけることができました。普段、関わることのない他校の仲間たちに出会い、仲良くなることができ、本当にうれしかったです。

これからの学校生活や普段の生活でも、この経験を生かして成長し続けたいです。

リーダーについて深く学んだ4日間

一色中学校

私は今までリーダーを務めてきましたが、リーダーとしての本来あるべき姿が何か知りたいと思っていました。そこで、リーダーについての理解を深めるため、リーダー養成塾に参加しました。この養成塾で学んだことは「リーダーの姿に正解はない」ということでした。

そう感じさせてくれた1つ目のプログラムがガイドウォークでした。ガイドウォークでは、動物は個性を活かして自分の真の姿で生活していることを知りました。そこから、それぞれの個性を活かして一人一人が違った要素をもつリーダーであってよいということを学びました。また西尾とは違い、慣れない雪の中を歩いていくので、転んでしまう子もいました。その度にみんなで声をかけ合い、止まって一人の子を待つという場面が何度もありました。私もその内の一人でした。みんなが待ってくれているので焦りもありましたが、それ以上にみんなの声かけや手助けを温かく感じました。すごく些細なことでしたが、私も仲間のように温かい行動をし、私のような思いをする人を増やしていきたいと思いました。

2つ目のプログラムはイグルー作りです。イグルー作りでは、みんなで役割分担をして、それぞれの作業に打ち込みました。その中で、声を出して指示をする人も出てきました。今までの私であれば、指示をする人がリーダーであると考えていました。しかし、このプログラムを通して、指示をする人も、それを聞いて実行する人も、一人一人輝く場所は異なっている、誰もがリーダーであると強く実感しました。最後のブロックを乗せるとき、「ラストのブロックのせるよ」と中にいる人に伝えました。しかし、外の音がほとんど聞こえないイグルーの中の人には、その声が全く聞こえていませんでした。外にいる私たちが声をかけていても中の人には聞こえていないように、声をかけているつもりであっても届いていなかったり、違う感じ方をしたりすることもあるのだと、新しい方向からの考え方も学ぶことが出来ました。

この2つのプログラムを通して、それぞれが違う特長をもち、一人一人輝く場所は異なるため、リーダー像に正解はないことを学ぶことが出来ました。養成塾では、リーダー性や人間性を向上させ、高い志をもった仲間たちと交流することで、新しい考え方を知ることが出来ました。この経験を活かし、学校でも頑張っていきます。

リーダーとしての意気

吉良中学校

僕は、これまで周りを引っ張っていくことがリーダーにとって大切だと思っていました。リーダー養成塾を通して、各学校のリーダーの思いや行動から、自分が思っているリーダー像は一部分であり、もっと違った見方ができることを学びました。印象に残っているプログラムが2つあります。

まず、1つ目が稲垣教育長さんから出された特別プログラムです。「リーダーを一言で表すと何を思い浮かべるか」というお題を出されたとき、僕は「憧れ」と紙に書きました。今、吉良中学校の1年生は、2年生に向けて「憧れられる先輩」になるという目標があります。そのため、リーダーが周りの憧れであるべきだと考え、書きました。しかし、みんなそれぞれ意見が違っていました。「コミュニケーション」「視る」「支える」など、引っ張っていくというより、周りを押し上げていくというイメージをもっている仲間もいました。このプログラムでは、何が大切かを決めつけるのではなく、いろいろな見方があることを学ぶことができました。

2つ目が、グループの力を引き出すアクティビティです。初めてイグルーを作りをしました。そこで感じたのが、それぞれのリーダーの姿です。僕は声を出してイグルー中にいる人に伝えているつもりが、中にいる人にはうまく伝わっておらず、作業がうまく進まないときがありました。その様子を見て、うまく伝わるように具体的な数や大きさなどを伝えたり、運ぶのが大変なときには率先して動いたりする仲間の存在がありました。この活動の中で、陰で支えるリーダーの存在の大きさを感じることができました。

僕の思うリーダー像は「憧れられる存在」だと考えていました。しかし、4日間のプログラムを通して、改めてリーダー像を考えたとき「個性を大切にできる」、それが今の考えです。みんなの個性はもちろんですが、自分の個性を大切に、それぞれが力を発揮していけるリーダーになりたいと考えました。

リーダー養成塾で学んできたことを生かして、学級や学年をよりよい方向に導いていきたいです。

自信をもたせてくれたリーダー養成塾

吉良中学校

僕がリーダー養成塾に参加しようと思った理由は、信頼されるリーダーになりたいと思ったからです。信頼されるリーダーになるために必要なことに関しては、最初の特別プログラムが心に残っています。このプログラムでは、リーダーには「人望」が必要で、「人望」を得るためには「心」、「力」、「姿」、の3つが大切だと教えていただきました。「心」は、思いやりなどの心の優しさです。「力」は、たくさんあり、コミュニケーション能力や技術などがあります。そして「姿」は、心や力を行動に示すことです。この3つがすべてできていないと「人望」は得られません。だから、僕は自分にできていないことは何かを見つめ直し、これからの日常生活で、人望を得られるように努力し、2年生になったときに、もう一度生徒会役員に立候補したいです。

僕は、このリーダー養成塾でたくさんの理想のリーダー像と出会いました。初めは理想のリーダー像を「信頼されるリーダー」と考えました。どちらかといえば、表に立って活躍するリーダーをイメージしていました。ですが、リーダー養成塾に参加した子の中には僕とは違い、表に立って光っているリーダーを裏で支えるリーダーになりたいという仲間もいました。この理想のリーダー像を聞いたときに、思い出した言葉があります。それは「光らせている人が光っている人」という言葉です。これは表に立って光っているリーダーもいるけれど、そのリーダーを裏で支える人も光っているということです。僕はこの言葉に共感しました。僕は前期級長としてみんなの前に立って話したり、物事を進めたりすることが多かったのですが、裏でみんなを楽しませるための工夫をするための準備、時間が必要でした。そして、僕たち級長以外にも、たくさんの先生方や仲間の協力がありました。改めて、理想のリーダー像を考えたときに、前に立つリーダーだけでなく、その場にあった行動ができる「柔軟性のあるリーダー」になりたいと考えるようになりました。

僕は、このリーダー養成塾で「リーダー」として、そして「人」として成長できたので、リーダー養成塾に参加できて本当によかったと思いました。学んだことを活かして、学年や学校に還元できるように努力していきたいです。

理想のリーダーになるために

吉良中学校

私がリーダー養成塾に参加した理由は、理想のリーダー像を見つけたいという思いが私の中にあったからです。リーダー養成塾の中で、理想のリーダー像を考えるきっかけになったプログラムが大きく二つあります。

一つ目は、ナイトハイクです。ナイトハイクでは、雪に囲まれた森の中で、理想とするリーダー像やリーダー養成塾に参加した動機について、一人で考える時間がありました。学校では、学級をよくしたいと考え、級長に立候補しました。しかし、級長をやっているものの、なかなか前に出て引っ張っていけない自分がいます。それは、自分に自信がもてないからだと感じています。その一方で、困っている人がいたら、声をかけていくことを大事にしました。声をかけていくことで、一緒に頑張れる仲間が増えました。その経験をもとに、前に立って引っ張っていくよりも、後ろから周りを押していくリーダーでありたいと考えました。考えを共有するときに、「星にもたくさんの個性がある」と話した仲間がいました。自分の考えと比較しながら、自分が輝くのもリーダーだけど、人を輝かせるのもリーダー像の一つだなと思い、自分の考えに自信をもつことができました。

二つ目は、稲垣教育長さんの特別プログラムです。リーダーには「心・力・姿」が必要だと教えていただきました。吉良中学校の級長会では、熱量が大事だと言われています。それが「心・力・姿」につながるものとわかりました。熱量は自分の「心」がそろっていないと、みんなに熱量となる「姿」として見せることはできません。その熱量をもって行動に移すことで、「力」も達成することができると思いました。もっと熱量を伝えられるリーダーになりたいと感じました。

3学期は自分らしいリーダー像を目指して、自分から行動し、「心・力・姿」を身につけるためには何が必要かを考え続けていきたいです。そして、みんなに信頼されるリーダーになり、自分も周りの個性を尊重しながら、熱量をもってリーダーをやり切れるようにしたいです。リーダー養成塾で見つけた理想のリーダー像に近づくために、これからも頑張ります。

自分を成長させてくれたリーダー養成塾

吉良中学校

私はこのリーダー養成塾に参加する前は、人前に立って話すことが苦手でした。最初はこの課題を克服するためにリーダー養成塾に応募しましたが、仲間と共に過ごす事により、他にも理想のリーダー像を具体的に思い浮かべることや、積極的に意見を言うことなどの課題が増えました。その課題を克服するために、いろいろなプログラムを真剣に取り組みました。

私は、イグルー作りとPV作りに力を入れました。イグルー作りでは、私はイグルーの中に入る役割だったので、全体に指示を出すことが大切でした。自分の想像していることをどうやって伝えればわかりやすく、相手も納得してくれるか、頭を抱えることもありました。そのとき、周りにいた塾生の中に口だけで説明するのではなく、実際にやって見せて相手に伝える塾生がいました。その行動を見たとき、私もこうすればいいのかと思ってやってみました。そうすると、相手にうまく伝わり、イグルーを見事完成させることができました。このイグルー作りを通して、一人で悩むのではなく、視野を広げる大切さに気づくことができました。

PV作りでは、PVの流れを自分たちで考えなければならなかったもので、難しかったです。どういう流れにするかを班の子たちと話し合いましたが、あまり意見がまとまらず、重苦しい雰囲気でした。でも、そのとき、私は勇気を振り絞って自分が思っていた意見を班の子に伝えました。そうしたら、班の子が「じゃあここはこうした方がいいんじゃない」とまとめてくれたり、新しい意見が出てきたりしました。そして、順調に話し合いは進みPVの全体の流れまで完成することができました。私は、このとき勇気を出した事によって場の雰囲気を変えることにつながり、積極的に自分の思ったことを伝えるというリーダー像に一步近づく事ができたと感じました。私は、このPV作りを通して、人の意見を聞くだけでなく、自分から積極的に思ったことを伝えることで、その場の雰囲気や話し合いをうまく進めることができることを学びました。

このリーダー養成塾で学んだことを今後の中学校生活に役立てていき、自分の思うリーダー像に少しずつ近づいていきたいです。そして、これからも自分から積極的にリーダーという立場に挑戦していきたいです。

第一歩をくれたリーダー養成塾

幡豆中学校

緊張の中で始まったリーダー養成塾の4日間を通して、僕が学んだことは2つあります。

1つ目は、考えを恐れず発表し、一つ一つの個性を尊重することです。これは、白川郷に着いてから最初に行った、相互理解の深化というプログラムで、深く学ぶことができました。29人が手を繋いで立ち上がるというチャレンジで、なかなかうまくいかず困っていました。そのとき、みんなそれぞれが考えた意見を発表し合いました。すると、それを誰も最初から否定せず、まずはやってみようと、みんなで試みました。このことから、見て、考え、発表すること。そして、それを尊重することの大切さを、改めて学ぶことができました。

また、このプログラムの前に行われたリーダーのあり方について学ぶ中で、姿を見せることが大事であるということを学び、発表し、尊重するという行動を姿として見せることが大切なのかなと思いました。

2つ目は、いろいろな視点から考えることです。リーダー養成塾3日目の夜、プログラムの振り返りで、イグルー作りについての意見の中で「イグルーの内側で作業をしていたら、外側の人にうまく声が届かないことがあった。普段も、声をかけているつもりでも、実は届いていないのではないか。」と言っていて、そんな考え方があったのかと感心しました。その後、部屋に戻って、自分は自分目線の考えしかしてなかったけれど、さまざまな視点から考えることで、新たな発見ができることが分かりました。また、この経験から、いろいろな視点から見ただけでなく、いろいろな人と話し合うことで、更にたくさんのことが見えてくることも学びました。

僕がリーダー養成塾の4日間の中で学んだことは、この先リーダーとして生きていく上での第一歩につながったと思います。ただ、あくまでも第一歩。ここから先は、自分自身が一步一步、進んでいく必要があります。その中で、何度もトラブルに巻き込まれることや、うまくいかないこともあると思います。そんなときは、この4日間で学んだことを思いだしながら、歩いていきます。リーダー養成塾を支えてくれた皆様、本当にありがとうございました。

リーダー像を見つけることができたリーダー養成塾

幡豆中学校

私は、自分の理想のリーダー像を見つけることを課題とし、リーダー養成塾に参加しました。その中で、自分の理想のリーダー像へと導いてくれたプログラムや、仲間の言葉が2つあります。

1つ目はナイトハイクです。ナイトハイクでは夜の森を感じ、自分自身と向き合う時間がありました。その時私は、星がきれいだなとしか思いませんでした。しかし、帰り道に仲間と話しながら帰っていると、その子は、「1番光っている星もきれいだけれど、それを引き立たせている他の小さな星もきれいだよ。」と言いました。その言葉を聞いて私は、人にもそのようなことが言えるのかなと思いました。目立って行動するリーダーももちろん素敵だけれど、そのリーダーが輝けるように支えてあげる人もリーダーと言えるのではないかと、自分の中で新たなリーダー像を発見することにつながりました。

2つ目は2日目の振り返りです。自分の気持ちをグラフに表し、紙にまとめるということをしました。私は全部の体験が楽しかったので、同じようなところに丸をつけました。でも、いざみんなの意見を聞いてみるとばらつきがあり、人それぞれ思うことは違うのだなと、改めて感じることができました。特に印象に残った意見は、イグルー作りについての意見です。イグルーにブロックを積んでいた子が、最後のブロックを乗せるとき、「自分は大きな声で相手に伝わるように伝えたつもりだったけれど、実際イグルーの中から聞いている人にはうまく伝わらなくて、自分が伝えられていると思っていても、相手と自分が感じていることは違う。」と言っていて、確かにそうだなと思いました。

相手の立場で物事を見ることができ、みんなを支えることのできるリーダー。これが、私が4日間の中で見つけた理想のリーダー像です。私は前期に室長を務めました。が、クラスをうまくまとめることができませんでした。今後また室長のようなリーダー的な立場になれたときはもちろん、そうでなくても、どんな立場のときでも、今回学んだことを活かし、みんなを支えたり、相手の立場になって考えたりして、行動で示していきたいです。

僕が目指すリーダー像

佐久島しおさい学校

「リーダーが大切にしなければならないことは何か。」

事前研修でこのように質問されたとき、僕の中には、はっきりとした答えがありませんでした。4日間のリーダー養成塾やそれまでの事前研修を通して、他の中学校の子と関わる中で目指すリーダー像を見つけ、これからの生活でリーダーとしてさらに成長できるようになりたいと思い、この研修に参加しました。

リーダー養成塾の中で、特に印象に残った体験が2つあります。1つ目は、相互理解の深化を図るプログラムで、みんなで手をつないで立ち上がるゲームをしたことです。手をつなぐ人が増えていくと、だんだんと立つことが難しくなり、人が多く集まるほど意見がまとまらなかったり、気持ちがそろわなかったりすることを実感しました。しかし、ある子が僕たちみんなに意見やアイデアを求め、まとめて、改善案を提案したことで、みんなの気持ちが1つになり、大人数で手をつないでも立ち上がることができました。その子の姿から、自分から声をあげてみんなに意見を求め、お互いの考えを大事にしてまとめることの大切さを学びました。

2つ目は、PV作りのプログラムで、絵コンテ作りをしたことです。事前研修で考えていたときよりも、さらにたくさんのアイデアが出てきたため、PVの内容をどうするのかなかなか決められずに、予定よりも多く時間がかかってしまいました。PVの時間も、条件の1分間をオーバーしてしまいそうで、もともとあった意見を削るかどうかわ悩む場面もありました。今回の研修ではあまり実践できなかったけれど、一人一人の意見や思いを大切にしたいうえで、みんなの納得が得られるような判断や決断をすることがリーダーには求められることを強く感じました。

リーダー養成塾を通して、リーダーに必要な力はさまざまあり、いろいろな個性をもったリーダーがいてよいと感じました。その中で、僕は自分から声を出してみんなの考えや思いを聞いて受け止めることや、みんなの納得が得られるように意見をまとめたり、判断や決断をしたりすることができるリーダーになりたいと思いました。これからの学校生活の中で、リーダー的な仕事にすすんで挑戦し、このような「心」や「力」をさらに高め、「姿」でみんなに示していけるリーダーを目指していきます。

